

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
(平成 25 年度事業実績)

平成 26 年 9 月
茨城町教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価の概要	
1	経緯	1
2	目的	1
3	対象	1
4	点検及び評価の方法	2
5	茨城町教育委員会評価委員会委員	2
6	評価委員会実施日	2
II	茨城町の教育に関する事務事業の点検・評価結果(平成25年度事業)	3
III	教育に関する事務事業の点検・評価シート	
No.1	児童・生徒防犯対策事業	4
No.2	道徳教育推進事業	5
No.3	読書普及推進事業	6
No.4	語学指導事業	7
No.5	教育支援センター事業	8
No.6	ティーム・ティーチング特別配置事業	9
No.7	特別支援教育支援員配置事業	10
No.8	幼稚園就園奨励事業	11
No.9	私立幼稚園就園者補助事業	12
No.10	青少年育成事業	13
No.11	町民教養講座開設事業	14
No.12	長生大学運営事業	15
No.13	人づくり推進事業	16
No.14	茨城町子どもフェスティバル	17
No.15	図書館運営事業	18
No.16	読書推進活動事業	19
No.17	子ども読書活動推進計画策定事業	20
IV	教育委員会における今後の対応について	21

教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価の概要

1 経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成 20 年 4 月 1 日施行)の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられた。

本報告書は、同法 27 条の規定に基づき、平成 25 年度における茨城町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験を有する者の意見を付して報告するものである。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 目的

事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことにより、事業の成果や課題を検証し、効率的かつ効果的な教育行政の推進に資することを目的とする。

3 対象

茨城町第 5 次総合計画後期基本計画に基づき、平成 25 年度に実施した教育委員会の主要な 17 事業を対象とした。

茨城町の教育に関する事務事業の点検・評価結果(平成25年度事業)

分類	目的	VLT	事業資源元				事業対象範囲				原課評価			委員評価		
			国	県	町	参	幼児/幼稚園	小学校	中学校	生涯教育	必要性	有効性	効率性	評価	意見等	
教育 基盤 整備	地域における情報拠点としての図書館運営						(15) 図書館運営事業				高	高	中	現	文化的基盤としての自覚を持ち、多様なニーズに柔軟に対応できるよう、利用しやすく親しみやすい図書館運営に努められたい。	
							(注)カッコ内の数字は点検・評価シートの事業No.を示す									
機会 均等 支援	幼児教育の支援奨励		○				(8) 幼稚園就園奨励事業					中	中	中	現	国の制度改正の動向を注視し、利用者に不利益が生じないような運用方法の検討に努められたい。
	公立・私立幼稚園の負担格差是正						(9) 私立幼稚園 就園者補助事業					中	中	中	現	事業No.8と併せて、利用者に不利益が生じないような運用方法の検討に努められたい。
学校 教育 の質 的向 上・ 支援	通学時における児童・生徒の安全確保	○						(1) 児童・生徒防犯対策事業			高	中	中	現	学校再編に伴う通学路の変更や新たにスクールバスが導入されることから、通学時における安全対策を再度確認し、引き続き児童生徒の安全確保に努められたい。	
	規範意識や社会性の向上							(2) 道徳教育推進事業			高	高	中	現	効果が体感しづらいが、健全な心の育成には事業継続が不可欠である。引き続き講師確保のための体制づくりを検討されたい。	
	総合力の向上と心の教育の充実							(3) 読書普及推進事業			高	高	中	現	「読書の定義」を広義で捉えることが必要。学校図書館における現状の把握と、児童生徒が読書による自己研鑽ができるような選書の方法や読書意欲を向上させる手法を検討されたい。	
	英語教育の強化と指導体制の充実							(4) 語学指導事業			高	高	中	現	ALTが直接雇用になったメリットを最大限に活かした人員配置を行い、町の人材育成方針に基づき、国際社会で活躍できる人材育成に努められたい。	
	個に応じたきめ細やかな学習支援				○	○			(6) ティーム・ティーチング特別配置事業			高	中	中	現	配置された講師が有効に活用され、配置校の実情に即した事業効果が得られている。きめ細かな指導が引き続き行われるよう運用に努められたい。
	障害のある児童・生徒の学習支援								(7) 特別支援教育支援員配置事業			高	高	中	現	特別な配慮が必要な児童生徒の状況を的確に把握し、個別の状況に応じた支援ができるよう柔軟な支援員の配置に努められたい。
習校 支外 援学	不登校児童・生徒の学校及び社会復帰の支援							(5) 教育支援センター事業			高	高	高	現	2事業統合による成果が見られる。子育て支援等の関係機関と情報の交換を密にし、引き続き不登校の未然防止や通級児童生徒への支援強化を図るよう努められたい。	
青少 年・ 家庭 教育 ・ 生涯 学習 支援	体験学習を通じた人間育成	○				○	○		(10) 青少年育成事業			中	高	高	現	本事業に参加した児童生徒の人間的な成長は勿論のこと、支援するボランティア団体の育成も含め相乗効果が得られている。今後も関係者の協力の下、事業の継続的な存続に努められたい。
	生涯学習と社会参加の促進	○								(11) 町民教養講座 開設事業	高	高	高	現	受講者のニーズに合った講座の開設は勿論のこと、地域の施設等を活用した活動拠点での講座の開設も視野に、住民主導の企画しやすいつ講座の企画立案に努められたい。	
	高齢者の生涯学習の促進									(12) 長生大学運営事業	高	高	高	現	行政主導の講座開設から、これまでの豊富な人生経験や知識を活かして、参加者自らが講座の企画立案ができる住民主導の事業展開ができるよう努められたい。	
	絵本を通じたコミュニケーションの促進	○						(16) 読書推進活動事業				高	中	中	現	参加者が年々減少している状況を分析したうえで事業の手法を再度見直し、一人でも多くの子育て家庭に絵本が渡せるように努められたい。
	子どもの読書環境の整備								(17) 子ども読書活動推進計画策定事業(新規)			高	高	高	現	茨城町の子どもたちの読書活動がこれまで以上に充実したものになるよう、学校図書館等を含めた広い視野での推進計画となるよう努められたい。
	文化・芸術を通じた人間育成								(13) 人づくり推進事業			高	高	高	現	世代を超えて、感受性豊かな人材の育成と、自己形成・啓発のための機会をより多く提供できるよう事業継続に努められたい。
	スポーツを通じた心身の鍛錬及び人間育成								(14) 茨城町子どもフェスティバル			高	高	高	現	スポーツを通じての世代間交流や、互いに切磋琢磨しながら目標を達成する等、学びの機会をより多く提供できるよう、継続した事業の推進に努められたい。

VLT: ボランティア協力者の有無

参: 参加者負担金の有無

原課評価は、「高」、「中」、「低」の3段階評価

委員評価は、「現: 現行どおり」、「拡: 拡大」、「縮: 縮小」、「休: 休止」、「廃: 廃止」の5段階評価

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.1

平成25年度

事業名	児童・生徒防犯対策事業						担当課	学校教育課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	1 充実した教育と教育施設の整備		
	基本施策	1 学校教育の充実				② 教育の質的充実			
2 予算の体系	款	10	項	1	目	2	事業	13	児童・生徒防犯対策事業費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度			平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円			0 千円		0 千円	
	その他財源		0 千円			0 千円		0 千円	
	一般財源		0 千円			134 千円		131 千円	
4 事業の目的	対象	PTA会員, 「110番の家」看板の設置宅							
	目的	登下校時における犯罪等の未然防止に努め, 学校, PTA, ボランティアなど地域全体で児童・生徒の安全を確保することを目的とする。							
5 事業の概要	<p>【保険】 立哨, 引率等, 防犯活動に対する保険のため, 茨城県PTA安全互助会の加入者負担金を支出。</p> <p>【「110番の家」看板】 協力者宅に配布する看板を作製。(看板の劣化に応じて3~4年ごとに作製)</p>								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目					平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	「110番の家」看板設置軒数					935 軒	990 軒	987 軒	
	小中学校からの不審者情報に関する報告件数					2 件	1 件	2 件	
	小中学校における通学安全対策に係る組織の設置数					9 校/12 校	12校/12 校	12校/12校	
	町防災無線による下校時間の周知					毎週火曜日の下校時間にあわせて実施			
	青色パトロール車による巡視					登校期間における毎週木曜日以外に実施			
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	児童・生徒が狙われる事件が凶悪化する傾向にあり, 学校やPTAだけではなく, ボランティアなども含めた地域全体での防犯活動が必要である。							
	有効性	<input type="radio"/> 効果がある <input checked="" type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	報告された不審者情報件数は低水準で推移しており, 児童生徒の地域における安全確保の面で一定程度の効果が得られていると推察することができる。							
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	経費は, 互助会負担金と看板作製料(平成25年度は無し)に限られ, 活動に係る最低限の支出である。手段については, 小中学校の通学安全対策に係る組織を充実させるなど, 地域における包括的な活動が実施できるような体制づくりが必要である。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり	学校再編に伴う通学路の変更や新たにスクールバスが導入されることから, 通学時における安全対策を再度確認し, 引き続き児童生徒の安全確保に努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.2

平成25年度

事業名	道徳教育推進事業						担当課	学校教育課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	1 充実した教育と教育施設の整備		
	基本施策		1 学校教育の充実				② 教育の質的充実		
2 予算の体系	款	10	項	1	目	2	事業	17 道徳教育推進事業費	
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0 千円		
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円		
	一般財源		569 千円		563 千円		434 千円		
4 事業の目的	対象	児童・生徒(保護者, 地域住民)							
	目的	生命尊重の心や自尊感情を育み, 規範意識や社会性の向上を図ることを目的とする。							
5 事業の概要	【道徳講演】 元県学校長会長: 講演「命ある限り希望がある」 影絵劇団かしの樹: 影絵劇「はらぺこパンタ」他 NPO法人: CAP小学生ワークショップ(いじめ防止)						【立志の集い】 期日: 平成26年2月28日 9:15~11:45 会場: 桜丘中学校 体育館 式典: 「志」発表, 合唱, 講演会等		
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目					平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	道徳講演会実施校数					9 校	6 校	11 校	
	実演(演奏等)を含む道徳講演会実施校数					3 校	4 校	5 校	
	立志の集い					3中学校合同	3中学校合同	3中学校合同	
7 事業の評価	必要性		<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか		充実した道徳教育の時間を確保することは, 児童・生徒の豊かな心の育成に必要である。						
	有効性		<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか		本事業の継続を望む学校からの意見は多く, さらに, 講演会へ参加した保護者からも好評を得た。						
	効率性		<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
	経費や手段は適切であるか		道徳講演会については, 限られた謝金の予算の中で各校で講師を探し実施しており, 担当教員の負担になっているとの意見があった。 立志の集いについては, 実行委員会を設置して企画・運営全般を生徒達自身で実施した。						
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止		
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり								
	効果が体感しづらいが, 健全な心の育成には事業継続が不可欠である。引き続き講師確保のための体制づくりを検討されたい。								

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.3

平成25年度

事業名	読書普及推進事業						担当課	学校教育課			
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	1 充実した教育と教育施設の整備				
	基本施策		1 学校教育の充実				② 教育の質的充実				
2 予算の体系	款	10	項	1	目	2	事業	18	読書普及推進事業費		
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度			平成24年度		平成25年度			
	国・県・支出金		0 千円			0 千円		0 千円			
	その他財源		0 千円			0 千円		0 千円			
	一般財源		293 千円			282 千円		206 千円			
4 事業の目的	対象	児童・生徒									
	目的	読書活動の推進を通して、児童・生徒の国語力の向上と心の教育の充実を図る。									
5 事業の概要	児童・生徒の読書活動を推進するため、読書記録(書名, 作者名, 感想等)を記載させる用紙及び用紙の保管用のバインダーを配布し、年間を通じて目標冊数を達成した児童・生徒に対して、賞状を授与する。										
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目						平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	小学校4～6年生の3年間で300冊以上の本を読んだ児童数						33 人	30 人	40 人		
	中学校1～3年生の3年間で150冊以上の本を読んだ生徒数						4 人	9 人	10 人		
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い									
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	児童・生徒の国語力の向上及び心の教育の充実のため、読書の有効性が注目されており、読書活動を推進するために本事業が必要性である。									
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない									
	目的とする実績や成果はあげられたか	本事業を中心とした読書活動の推進により読書の習慣が定着し、年間の読書冊数の目標を達成する児童・生徒数は増加している。それに伴い、児童・生徒の文章の読解力が向上してきている。									
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない									
	経費や手段は適切であるか	町統一の年間の読書冊数の目標を設定し、小学生が年間100冊以上、中学校は年間50冊以上の達成者に対して賞状を配布した。平成25年度の小学生の達成者は404人、中学生が59名だった。今後もより事業効果が上がるよう検討を進めて行く予定である。									
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要		<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止								
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり										
	「読書の定義」を広義で捉えることが必要。学校図書館における現状の把握と、児童生徒が読書による自己研鑽ができるような選書の方法や読書意欲を向上させる手法を検討されたい。										

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.4

平成25年度

事業名	語学指導事業						担当課	学校教育課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	1 充実した教育と教育施設の整備		
	基本施策	1 学校教育の充実				② 教育の質的充実			
2 予算の体系	款	10	項	1	目	3	事業	12	語学指導経費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度			平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円			0 千円		0 千円	
	その他財源		0 千円			0 千円		0 千円	
	一般財源		12,569 千円			12,833 千円		13,840 千円	
4 事業の目的	対象	小学校及び中学校							
	目的	児童・生徒の英語学力の向上と、将来、国際化社会において活躍できる人材の育成を目指す。							
5 事業の概要	各中学校に英語教諭のサポートとして、外国語英語指導助手(ALT)を1名配置し、英語教育の充実を図っている。また、平成23年度から小学校においても英語教育が導入されており、小学校にもALTの派遣を行っている。								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目					平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	英語力の向上(学力診断テスト3年生の平均点)					54.4 点	48.8 点	50.6 点	
	学校におけるALT評価(5点満点)					4.48 点	4.67 点	4.46 点	
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	国際化社会で活躍できる人材育成のサポート役として、学校現場において高い評価を得ている。							
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	学力テストにおける平均点は平成24年度よりも上昇し、児童・生徒の英語に対する見方・考え方に変化が出てきている。							
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	平成25年度から町が直接雇用し、英語指導助手を配置している。委託契約で派遣していた平成24年度よりも全体では経費は上がったものの、現場での打ち合わせの時間がとりやすくなった等のメリットがあった。今後も効果的な活用に向けて検討をしていきたい。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり								
	ALTが直接雇用になったメリットを最大限に活かした人員配置を行い、町の人材育成方針に基づき、国際社会で活躍できる人材育成に努められたい。								

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.5

平成25年度

事業名	教育支援センター事業						担当課	学校教育課
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	1 充実した教育と教育施設の整備		
	基本施策		1 学校教育の充実			② 教育の質的充実		
2 予算の体系	款	10	項	1	目	3	事業	13 教育支援センター経費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度			平成24年度		平成25年度
	国・県・支出金		/			0 千円		0 千円
	その他財源					0 千円		0 千円
	一般財源					8,418 千円		5,961 千円
4 事業の目的	対象	児童・生徒及び教職員						
	目的	不登校、暴力行為、いじめ等の未然防止及び早期対応と、不登校に陥った児童生徒の社会復帰支援を行う。また、児童・生徒の指導に関する教職員からの相談を受け、教職員の指導力向上に資することを目的とする。						
5 事業の概要	【勤務時間】	年間を通じて、実情に応じて勤務(7時間45分以内/日, 3日以内/週)						
	【勤務内容】	主な業務は、不登校をはじめとした生徒指導上の問題を抱える児童・生徒に対する指導や相談業務である。また、各小中学校において、教師の生徒指導力の向上を図るための研修を行う。						
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	不登校児童生徒数(30日以上・病欠を除く)		50 人	39 人	29 人			
	児童・生徒100人あたりの不登校の出現者数(町/県)		1.91人/1.09人	1.52人/1.11人	1.14人/1.17人			
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	不登校等の児童生徒指導上の問題は、家庭環境や友人関係に起因するものが多く、根深いうえに複雑化している。問題解決には、家庭・学校間をコーディネートする機関が必要である。						
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか	きめ細やかな支援によって、児童生徒指導上の問題が解消されるなど、一定の成果をあげている。幅広い対応が採れるよう、関係機関との連携を強化する。						
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
経費や手段は適切であるか	適応指導教室(とんぼのひろば)事業と生徒指導相談員配置事業の2事業が統合され、問題解決に対する人材活用の幅が広がっている。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
	2事業統合による成果が見られる。子育て支援等の関係機関と情報の交換を密にし、引き続き不登校の未然防止や通級児童生徒への支援強化を図るよう努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.6

平成25年度

事業名	チーム・ティーチング特別配置事業						担当課	学校教育課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	1 充実した教育と教育施設の整備			
	基本施策		1 学校教育の充実			② 教育の質的充実			
2 予算の体系	款	10	項	1	目	3	事業	16	チーム・ティーチング配置事業費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	国・県・支出金		2,213 千円		2,303 千円		0 千円		
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円		
	一般財源		10,186 千円		10,415 千円		22,872 千円		
4 事業の目的	対象	児童・生徒							
	目的	全国学力・学習状況調査の結果や町指導主事による学校訪問指導の結果を総合的に考慮し、学力低下が懸念される学校や落ち着いた学級運営が困難化している学校へチーム・ティーチング講師を配置し、きめ細やかな授業を展開し、学力の向上を図ることを目的とする。							
5 事業の概要	【勤務時間】 年間1,050時間以内(8時間以内/日 , 30時間以内/週 , 5日以内/週) 【勤務内容】 学級担任とともにチームティーチング指導の実施。 少人数の学習集団を形成し、個に応じたきめ細やかな指導の実施。								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目				平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	TT非常勤講師数(配置校数)				8 人(7 校)	10 人(7 校)	9 人(7 校)		
	全国学力・学習状況調査 対象:小学校第6学年児童 「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合	国語の勉強は好きですか		63.4 %	59.6 %	70.4 %			
		国語の授業はわかりますか		84.1 %	81.8 %	86.9 %			
		算数の勉強は好きですか		67.0 %	66.7 %	74.3 %			
算数の授業はわかりますか		83.9 %	83.9 %	88.0 %					
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	少人数による学習指導, チームティーチング指導等による個に応じたきめ細やかな指導の充実のために, チーム・ティーチング講師配置の必要性が高い。							
	有効性	<input type="radio"/> 効果がある <input checked="" type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	国語や算数の授業がわかると回答した児童の割合が8割を超えており, 個別指導や少人数学習による学力の定着に効果をあげている。							
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	各学校の実情に即し, より高い事業効果をあげるべく, 事業の運用方法を随時改善し, 効果を検証するための体制を整備する余地がある。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止		<input checked="" type="radio"/> 現行どおり						
	配置された講師が有効に活用され, 配置校の実情に即した事業効果が得られている。きめ細やかな指導が引き続き行われるよう運用に努められたい。								

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.7

平成25年度

事業名	特別支援教育支援員配置事業						担当課	学校教育課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	1 充実した教育と教育施設の整備		
	基本施策	1 学校教育の充実				② 教育の質的充実			
2 予算の体系	款	10	項	1	目	3	事業	17	特別支援教育支援員配置事業費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度			平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円			0 千円		0 千円	
	その他財源		0 千円			0 千円		0 千円	
	一般財源		7,852 千円			8,194 千円		9,170 千円	
4 事業の目的	対象	肢体不自由や発達障害等がある児童・生徒が普通学級及び特別支援学級に在籍する学校							
	目的	普通学級及び特別支援学級に在籍する肢体不自由や発達障害のある児童・生徒に対して、校内における日常生活の介助や危険な行動の防止など安全面に配慮した支援を行う。							
5 事業の概要	【勤務時間】 年間900時間以内(6時間以内/日 , 28時間以内/週 , 5日以内/週) 【勤務内容】 日常生活の介助, 教室間移動の介助, 健康・安全確保, 教材作成等を行う。								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目			平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	特別支援教育支援員数			12 人	11 人	10 人			
	特別支援教育支援員配置校数			7 校	8 校	8 校			
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	児童・生徒の障害の状態に応じた適切な教育を実施し、円滑な学校運営を行うためには、実情に応じて支援員を適宜配置することが必要不可欠である。							
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	当該児童生徒の校内における日常生活の支援及び安全確保の面で成果が見られる。							
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	経費は、配置が必要な児童・生徒の増減による支援員の配置人数により年度ごとに変動する。より高い事業効果を上げるため、支援内容について専門機関へ相談するなど検証を行う必要がある。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止								
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり								
	特別な配慮が必要な児童生徒の状況を的確に把握し、個別の状況に応じた支援ができるよう柔軟な支援員の配置に努められたい。								

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.8

平成25年度

事業名	幼稚園就園奨励事業						担当課	学校教育課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	1 充実した教育と教育施設の整備			
	基本施策	1 学校教育の充実				② 教育の質的充実			
2 予算の体系	款	10	項	4	目	2	事業	12	幼稚園就園奨励費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	国・県・支出金		4,190 千円		4,145 千円		4,509 千円		
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円		
	一般財源		12,973 千円		13,333 千円		13,912 千円		
4 事業の目的	対象	公立・私立幼稚園に通園する園児の保護者							
	目的	世帯の課税状況に応じて、公立・私立幼稚園間における授業料等の格差解消と保護者負担の軽減を図る。							
5 事業の概要	世帯の市町村民税の課税状況に応じて、授業料等の一部を国の基準額に基づき補助(児童1人につき年間最大308,000円)している。								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目					平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	補助対象園児数					169 人	183 人	179 人	
7 事業の評価	必要性	<input type="radio"/> 必要性が高い <input checked="" type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	現在でも、公立幼稚園と私立幼稚園における授業料等の格差は解消されておらず、引き続き補助が必要である。							
	有効性	<input type="radio"/> 効果がある <input checked="" type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	負担軽減がされることから、授業料等の未納も発生していない。							
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	子ども子育て支援法の施行に伴う国の動向を鑑みながら、関連部局との連携を図り、制度の適正運用に努める。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止								
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり								
	国の制度改正の動向を注視し、利用者に不利益が生じないような運用方法の検討に努められたい。								

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.9

平成25年度

事業名	私立幼稚園就園者補助事業						担当課	学校教育課
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	1 充実した教育と教育施設の整備		
	基本施策	1 学校教育の充実				② 教育の質的充実		
2 予算の体系	款	10	項	4	目	2	事業	13 私立幼稚園補助費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	一般財源		1,520 千円		1,622 千円		1,704 千円	
4 事業の目的	対象	公立幼稚園未設置の小中学校区から私立幼稚園に通園する園児の保護者						
	目的	上記対象世帯における授業料等の軽減						
5 事業の概要	保護者の申請により、公立幼稚園が未設置である小中学校区(石崎小、広浦小、駒場小、長岡第二小)から私立幼稚園に通園する園児の保護者に対して、所得要件に関わらず、園児1名につき月額2,000円を補助する。							
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目				平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	補助対象園児数(途中入園を含む)				65 人	68 人	71 人	
7 事業の評価	必要性	<input type="radio"/> 必要性が高い <input checked="" type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	近年、公立幼稚園が定員割れを起こしている現状から、私立幼稚園を選択しているのは保護者の希望であることがうかがえる。しかしながら、私立幼稚園においても、入園児数が減少していることから、何らかの支援措置が必要である。						
	有効性	<input type="radio"/> 効果がある <input checked="" type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか	既に、他の制度(就園奨励費事業)により、十分な軽減措置が採られているが、幼稚園入園の一助となっている現実是否めない。						
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
	経費や手段は適切であるか	現行制度の見直しを含め、別事業への財源振り替え等を視野に、今後再検討が必要である。						
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止						
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
	事業No.8と併せて、利用者に不利益が生じないような運用方法の検討に努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.10

平成25年度

事業名	青少年育成事業						担当課	生涯学習課	
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	2 青少年の健全育成と家庭教育の充実			
	基本施策	1 青少年の健全育成				② 生活体験, 活動体験の機会の充実			
2 予算の体系	款	10	項	5	目	2	事業	12 青少年育成事業費	
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0千円		
	その他財源		315 千円		315 千円		234千円		
	一般財源		262 千円		248 千円		265千円		
4 事業の目的	対象	児童・生徒							
	目的	町内の子どもたちが一堂に会し, 豊かな自然環境の中で自らが企画運営する事業を体験することで, 創造力や協調性を養い, 忍耐力を身に付け, 生き抜く力を育むことを目的とする。							
5 事業の概要	【実施期間】 平成25年7月25日～30日 【実施場所】 湊沼自然公園 【参加人数】 児童・生徒 28人 【研修】 事前研修 2回, 事後研修 1回								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目						平成23年度	平成24年度	平成25年度
	筑波山登山						○	○	○
	食育体験						ピザづくり	うどんづくり	うどん, アイス作り
	公園周辺クリーン作戦						○	○	○
7 事業の評価	必要性	○ 必要性が高い ● 一定の必要性がある ○ 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	豊かで便利な日常生活の中では経験できない体験活動を通じて, 困難を乗り越える忍耐力を培い, 達成感を味わってもらう機会を確保するため, 本事業は必要である。							
	有効性	● 効果がある ○ 一定の効果がある ○ 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	異年齢の子ども達が共同生活をする事で, 自主性, 協調性及び社会性の習得に結びついた。							
	効率性	● 効率的である ○ 概ね効率的である ○ 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	経費・手段ともに適切に執行されている。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	○ 改善が必要		○ 拡大 ○ 縮小 ○ 休止 ○ 廃止						
	● 現行どおり								
本事業に参加した児童生徒の人的な成長は勿論のこと, 支援するボランティア団体の育成も含め相乗効果が得られている。今後も関係者の協力の下, 事業の継続的な存続に努められたい。									

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.11

平成25年度

事業名	町民教養講座開設事業						担当課	生涯学習課
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	4 生きがいづくり・生涯学習の推進		
	基本施策		2 生涯学習機会の充実					
2 予算の体系	款	10	項	5	目	5	事業	13 町民教養講座開設事業費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0千円		0千円		0千円	
	その他財源		357千円		742千円		734千円	
	一般財源		172千円		164千円		243千円	
4 事業の目的	対象	全町民						
	目的	町民が豊かな情操を持ち、学習意欲を高め、社会への積極的な参加を促進することを目的とする。						
5 事業の概要	【教養講座】 ・20回講座(1) 7,000円 ・10回講座(10)5,000円 ・子ども演劇講座(1)1回300円 ・ワンコイン講座(1) 1回500円				【事業の流れ】 4月中旬 受講者募集(全戸にチラシを配布) 5月上旬 募集締切 6月開講			
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
	長期講座受講者数		0人	36人	19人			
	短期講座受講者数		116人	275人	130人			
当町の文化芸術を永く存続させるため、クラブの立ち上げまでを視野に入れて講座を開設している。								
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	受講者等の意見・感想を取り入れ、時代のニーズに適う講座の設定に努めている。						
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか	各講座の成果発表を、様々な機会に行い多くの方々にみていただいております。実績成果ともにあげられています。						
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
	経費や手段は適切であるか	多くの方々に参加してもらえるよう、様々な情報を集め工夫しているので、適切である。						
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要		<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止					
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
	受講者のニーズに合った講座の開設は勿論のこと、地域の施設等を利活用した活動拠点での講座の開設も視野に、住民主導の参画しやすい講座の企画立案に努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.12

平成25年度

事業名	長生大学運営事業						担当課	生涯学習課
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	4 生きがいづくり・生涯学習の推進		
	基本施策		1 生涯学習の推進				② 交流の場所の確保(地域間の連携も含む)	
2 予算の体系	款	10	項	5	目	5	事業	14 長生大学事業費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他財源		205 千円		215 千円		213 千円	
	一般財源		167 千円		608 千円		485 千円	
4 事業の目的	対象	65歳以上の町民						
	目的	時代に対応する心構えを養い、心身ともに健康で、生きがいのある人生を送るための学習やクラブ活動を行うことを目的とする。						
5 事業の概要	【事業内容】 実施回数:8回/年(2回/月)・野外研修1回 活動内容:講話聴講(午前) 受講料:1,000円 送迎バス利用料:1,000円							
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目			平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	長生大学受講者数			179 人	185 人	201 人		
	1年間の間に徐々に増え、200人を超えた。							
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	高齢者クラブ等の代表者の意見・感想を取り入れ、参加者の希望に合うよう事業運営に努めている。						
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか	今年度200人を超えたが、未だ一堂に会することができずクラブ活動も実施できず、震災前の人数には達していない。						
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
	経費や手段は適切であるか	できるだけ講師は無料の方を頼むようにして、経費を抑えている。受講者の募集は、高齢者クラブや町広報誌で広く呼びかけているので有効である。						
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
	行政主導の講座開設から、これまでの豊富な人生経験や知識を活かして、参加者自らが講座の企画立案ができる住民主導の事業展開ができるよう努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.13

平成25年度

事業名	人づくり推進事業						担当課	生涯学習課
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	4 生きがいづくり・生涯学習の推進		
	基本施策		1 生涯学習の推進					
2 予算の体系	款	10	項	5	目	8	事業	13 人づくり推進事業費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	一般財源		202 千円		515 千円		408千円	
4 事業の目的	対象	全町民						
	目的	一流の文化人による講演会を開催することにより、町民の学習活動を支援し、学習意欲の高揚を図ることを目的とする。						
5 事業の概要	【人づくり文化講演会】 講師:ダニエル・カール氏 演題:がんばっぺ オラの大好きな日本 期日:平成26年2月11日(町民の日) 会場:町中央公民館大ホール							
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目				平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	文化講演会参加者数				290 人	390 人	320 人	
7 事業の評価	必要性		<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い					
	社会的要因や住民のニーズに即しているか		町民の学習機会の充実を図り、学習活動を支援するには本事業の必要性が高い。					
	有効性		<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない					
	目的とする実績や成果はあげられたか		日常生活における充実感や豊かな心を育み、自己啓発の場としての効果をあげている。					
	効率性		<input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない					
	経費や手段は適切であるか		文化講演会については、多くの町民の参加を促すため、広報いばらきに掲載するとともにチラシによる周知を図った。					
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
	世代を超えて、感受性豊かな人材の育成と、自己形成・啓発のための機会をより多く提供できるよう事業継続に努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.14

平成25年度

事業名	茨城町子どもフェスティバル						担当課	生涯学習課		
1 総合計画の体系	章	2 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	2 青少年の健全育成と家庭教育の充実				
	基本施策		1 青少年の健全育成			② 生活体験, 活動体験の機会の充実				
2 予算の体系	款	10	項	6	目	1	事業	19	茨城町子どもフェスティバル経費	
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度			
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0 千円			
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円			
	一般財源		332 千円		432 千円		491千円			
4 事業の目的	対象	幼児, 児童, 生徒								
	目的	多年齢層による子どもたちが一堂に会し, スポーツレクリエーションの歓びや楽しさを味わいながら, 協調性や創造性を育み, 心身ともにたくましい郷土の担い手を育成することを目的とする。								
5 事業の概要	スポーツチャレンジステージ, レクリエーションステージ, にぎわい交流ステージを設け, 各ステージにおいて団体種目及び個人種目, ニュースポーツ, アトラクションを実施。また, 子ども会育成会等の協力により, 模擬店を出店したり, ボランティア活動としてペットボトルキャップの回収等を実施。									
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目						平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	少年団対抗障害リレー参加チーム数						17 チーム	17 チーム	17チーム	
	回収したペットボトルキャップ数						60,800 個	42,140 個	63,640個	
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い								
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	子どもたちが一堂に会し, 楽しみながら仲間との交流を深め, スポーツレクリエーションへの興味や関心を深める機会として, 本事業は必要である。								
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない								
	目的とする実績や成果はあげられたか	本事業は, 子ども会育成会や体育関係団体など, 幅広い層の協力のもと実施されており, 世代間の交流を図り, 地域の連帯意識を醸成するなど事業の目的とする成果は十分あげられている。								
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない								
	経費や手段は適切であるか	幅広い世代が, スポーツやレクリエーションを通じて歓びや楽しさを味わう機会を確保できており, 適切な事業運営がなされている。								
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止									
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり									
	スポーツを通じての世代間交流や, 互いに切磋琢磨しながら目標を達成する等, 学びの機会をより多く提供できるよう, 継続した事業の推進に努められたい。									

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.15

平成25年度

事業名	図書館運営事務						担当課	図書館
1 総合計画の体系	章	4 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	3 豊かな心と身体を育む生涯学習の推進	
	基本施策		1 生涯学習の推進				(2) 社会教育施設の充実	
2 予算の体系	款	10	項	5	目	6	事業	11 図書館運営事務費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0千円		0千円		0千円	
	その他財源		0千円		0千円		0千円	
	一般財源		14,264千円		10,845千円		9,703千円	
4 事業の目的	対象	図書館利用者(町内及び広域)						
	目的	図書館は地域の情報活用拠点として、利用者に十分な資料の貸出や各種のサービス及び情報を提供することを目的としている。						
5 事業の概要	一般利用者及び施設への資料貸出を行うほか、小さい頃より本に慣れ親しんでもらうため、乳幼児から小学校低学年を対象とした読み聞かせを開催。また、利用促進、読書推進を図るため、夏休み1日図書館員や施設見学を実施。さらには、図書館を通して、勤労観、職業観を養うために中高生の職場体験を受け入れている。							
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目			平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	資料の貸出(相互貸借・団体貸出を除く)			121,637点	131,339点	134,764点		
	絵本となかよし(毎月第2,4木曜日)			429人	345人	278人		
	おはなしの会(毎月第2,4土曜日)			313人	277人	248人		
	施設見学(随時)			175人	305人	282人		
	夏休み1日図書館員(小学生)			18人	18人	18人		
	体験学習(中学生)			12人	10人	15人		
	インターンシップ(高校生)			2人	4人	2人		
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	情報通信技術の進展により、多種多様な情報についての要望が高い中、図書館として迅速で詳細な資料提供が必要となる。						
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか	前年度より貸出数及び利用者数も増加して、貸出数で3,425冊・点(2.6%)の増、利用者数で851人(3.2%)の増となっている。						
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
	経費や手段は適切であるか	図書資料購入費(図書備品費)が、前年度より539千円(13.5%)の減となっている。利用者の要望について、幅広い選書による図書購入及び相互貸借(県内図書館)により、貸出対応をしていきたい。						
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止	<input type="radio"/> 廃止			
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
文化的基盤としての自覚を持ち、多様なニーズに柔軟に対応できるよう、利用しやすく親しみやすい図書館運営に努められたい。								

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.16

平成25年度

事業名	読書推進活動事業						担当課	生涯学習課(図書館)
1 総合計画の体系	章	4 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり			節	1 明日を担う人づくり		
	基本施策		1 就学前の児童の教育の充実			(1) 家庭教育の充実(ブックスタート事業)		
2 予算の体系	款	10	項	5	目	6	事業	12 読書推進活動事業
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金		0 千円		0 千円		0 千円	
	その他財源		0 千円		0 千円		0 千円	
	一般財源		477 千円		227 千円		360 千円	
4 事業の目的	対象	生後7・8ヶ月の乳児及び保護者						
	目的	絵本を通じて赤ちゃんと家族が、心あたかな時間を共にし、コミュニケーションを深めることにより、親子の愛情が育まれるよう応援することを目的とする。						
5 事業の概要	ブックスタートは、親子が絵本の読み聞かせを通し、あたたかくてたのしい時間をつくることを応援する事業です。健康増進課で実施する7, 8か月健康診査時及び離乳食教室に、図書館職員とボランティアが読み聞かせの効用を説明するとともに、絵本の読み聞かせを行いながら、1人に1冊の絵本を手渡します。(絵本セット)							
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目			平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	ブックスタート(乳児健診時・栄養指導時)			218 人	183 人	155 人		
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い						
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	少子化や核家族化が進み女性の社会への進出も増え、地域との繋がりが希薄となり、子育ても孤立しがちな状況となっている中で、様々な角度からの子育て支援が求められている。						
	有効性	<input type="radio"/> 効果がある <input checked="" type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない						
	目的とする実績や成果はあげられたか	絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つことの大切さや、行政や地域が子育てを応援していることを、一人ひとりに伝えながらブックスタートパックを渡すことができた。						
	効率性	<input type="radio"/> 効率的である <input checked="" type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない						
	経費や手段は適切であるか	事業費のほとんどが、ブックスタートで配布する絵本セットの購入費用となっている。						
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり							
	参加者が年々減少している状況を分析したうえで事業の手法を再度見直し、一人でも多くの子育て家庭に絵本が渡せるように努められたい。							

教育に関する事務事業の点検・評価シート

事業 No.17

平成25年度

事業名	子ども読書活動推進計画策定費						担当課	図書館	
1 総合計画の体系	章	4 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり				節	3 豊かな心と身体を育む生涯学習の推進		
	基本施策	1 生涯学習の推進							
2 予算の体系	款	10	項	5	目	6	事業	13	子ども読書活動推進計画策定費
3 事業費 (決算額)	財源		平成23年度			平成24年度		平成25年度	
	国・県・支出金							0 千円	
	その他財源							0 千円	
	一般財源							50 千円	
4 事業の目的	対象	0歳からおおむね18歳以下の子ども							
	目的	茨城町の未来を担う子どもたちが、その成長の過程で、読書を通じ、読書の楽しさ大切さを学び、大人になっても進んで読書をするような人になってもらいたいとの願いから、図書館を中心に学校や行政、そして地域や家庭等が連携し、子ども読書環境の整備と読書の習慣付けを推進することを目的とします。							
5 事業の概要	この計画は、「子ども読書活動の推進に関する法律」に基づく国の計画及び茨城県の計画を基本とし、茨城町の子ども読書活動の推進状況を踏まえて策定するものです。「茨城町第5次総合計画」及びその他関連する計画を踏まえ、茨城町における子どもの読書活動推進に関する施策の方向性や取り組みを提示するものです。								
6 事業の実施状況 (各種指標)	項目					平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	子ども読書活動推進計画策定委員会の開催							3 回	
7 事業の評価	必要性	<input checked="" type="radio"/> 必要性が高い <input type="radio"/> 一定の必要性がある <input type="radio"/> 必要性が低い							
	社会的要因や住民のニーズに即しているか	子どもが本に親しみ、さらに読書への意欲を高めていくためには、成長段階に応じた読書活動の機会を十分に提供しながら、子どもが自ら進んで読書に親しむ態度を育成することが必要です。							
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 効果がある <input type="radio"/> 一定の効果がある <input type="radio"/> 効果がない							
	目的とする実績や成果はあげられたか	各委員より、読書推進に関する提案(取り組み)について、多くのご意見をいただきました。充実した推進計画書の内容に反映をしていきたい。							
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> 概ね効率的である <input type="radio"/> 効率的でない							
	経費や手段は適切であるか	茨城町子ども読書活動推進計画を基本として、学校や行政、そして地域や家庭等が連携し、子ども読書環境の整備と読書の習慣付けを推進する。							
8 評価委員意見 (今後の方針・課題等)	<input type="radio"/> 改善が必要	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止							
	<input checked="" type="radio"/> 現行どおり								
	茨城町の子どもたちの読書活動がこれまで以上に充実したものになるよう、学校図書館等を含めた広い視野での推進計画となるよう努められたい。								

教育委員会における今後の対応について

学識経験を有する評価委員から貴重なご意見をいただき、平成 25 年度の教育に関する事務事業の点検及び評価を実施いたしました。

点検及び評価の手法につきましては、事業の必要性、有効性及び効率性の観点から定量的指標を示すことにより、公平かつ客観的な評価の実施に努め、昨年度の点検及び評価において、評価委員からご意見・ご指摘をいただいた事項への対応状況を整理したうえで、平成 25 年度における主要 17 事業についての点検及び評価を実施し、事業の成果や課題の検証、さらに今後の事業方針等を確認いたしました。

点検及び評価の結果、評価対象である 17 事業について概ね良好に執行されており、今後についても現行どおりの事業運営を継続すべきであるとの評価をいただきました。各事業にてご意見やご指摘がございました課題や改善事項につきましては、再度、個々の事業を点検し、より事業の効果を高めるべく、教育行政の一層の推進に努めてまいります。

次年度の点検及び評価につきましては、各事業に関するデータの分析をより詳細に行い、他市町村における事業の実施状況等と比較分析するなど、グローバルな視点から事業評価を実施する必要があるとのご指摘をいただきました。今後も引き続き、点検及び評価の手法を改良し、実効性が高い評価の在り方を検討してまいります。

茨城町教育委員会は、評価委員からいただいた貴重なご意見をもとに、事業のさらなる改善を図り、町民に信頼され、支持される教育行政の充実に努めてまいります。

平成 26 年 9 月
茨城町教育委員会